

新型コロナウイルス感染症対応についての確認事項（米子工業高等専門学校）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
令和2年度の始業日を約1ヶ月遅らせて5月11日とし、この間に遠隔授業等の準備を行った。これにより、前期の行事予定を見直し、半期15週の授業時間を確保した。後期については、概ね例年通りの日程で授業等を実施できた。	<p>C-1-01 「令和2年度年間行事予定表」</p>
5月11日の始業後は遠隔授業期間を設け、対面授業は6/29からと、段階的に移行した。遠隔授業についてはプロジェクトチームを組織し、具体的な実施方法を検討した。	<p>C-1-02 「遠隔授業実施計画」</p> <p>C-1-03 「6月以降の本校のコロナ対応」</p> <p>C-1-04 「対面授業再開時の対応」</p>
遠隔授業の実施にあたっては、MicrosoftTeamsを活用することを基本とし、令和2年4月22日にその使用方法に関するFD研修会を実施した。また、学生、教職員それぞれに説明資料を作成・配布したほか、情報セキュリティに関する注意も必要なことから、同様に説明資料を作成・配布した。	<p>C-1-05 「遠隔授業に関するFD研修」</p> <p>C-1-06 「遠隔授業の実施方法等のガイダンス_学生用」</p> <p>C-1-07 「授業に関する事前ガイダンス_教員用」</p> <p>C-1-08 「遠隔授業実施に関する事前ガイダンス_情報セキュリティ」</p> <p>C-1-09 「Teamsの使い方の練習_スマホ版」</p> <p>C-1-10 「Teamsの使い方の練習_教員用」</p>
遠隔授業の効果・有効性については、1週間ほど実施した時点でアンケート調査を行い、その結果を授業改善に資するべく教員に通知した。	<p>C-1-11 「遠隔授業に関するアンケート」</p>
2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
遠隔授業アンケートの結果、自宅や携帯端末の通信環境が脆弱であったり、端末自体を所有しておらず、安心して受講できない学生がいることがわかった。これらの学生への対応として、登校して学内の通信環境を利用して受講することを認めたほか、ノートPCや携帯端末の貸し出しを行った。ただし、この場合の通信費用は自己負担とした。	<p>(再掲)C-1-11 「遠隔授業に関するアンケート」</p> <p>C-2-01 「学内での遠隔授業の受講について」</p> <p>C-2-02 「端末貸し出し通知文」</p>
米子高専同窓会及び卒業生からの寄附等を活用し、経済的に困窮している学生に対し支援金を給付した。	<p>C-2-03 「学生支援事業 募集案内」</p>
学生・保護者に対し、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた学生等に対する経済的な支援について周知した。	<p>C-2-04 「経済的支援に関するお知らせ_国立米子工業高等専門学校」</p>

<p>鳥取県からの要請を受け、新型コロナウイルス感染症対策として、近隣教育機関・企業、地域住民も対象とした職域接種を実施した。</p>	<p>C-2-05 「米子高専職域接種マニュアル・看護師総括用マニュアル」 C-2-06 「新型コロナウイルスワクチンの職域接種を開始しました」 C-2-07 「新型コロナウイルス職域接種の一般住民への開放情報」</p>
<p>3. 新型コロナウイルス感染症に対応して、寮における安全対応について行った取組の概要を確認したい。</p>	
<p>回答欄</p> <p>鳥取県が、鳥取県看護協会の協力により県内学生寮の衛生指導を実施し、当該衛生指導の結果を感染症対策に反映した。</p>	<p>根拠資料・データ（提出は任意）</p> <p>C-3-01 「感染予防に関する学生寮の衛生指導について」 C-3-02 「体調不良者等発生時フローチャート」</p>
<p>3人部屋を解消して、1～2人部屋にし、2人部屋には仕切りカーテンを設置した。</p>	
<p>手動水栓から自動水栓に変更した。</p>	
<p>足踏み式消毒液を各所に配置した。</p>	
<p>食事や入浴の時間を学年ごとに設定した。</p>	<p>C-3-03 「寮生活での新型コロナウイルス感染症対策」 C-3-04 「寮食時間割」</p>
<p>4. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の課外活動について行った取組の概要を確認したい。</p>	
<p>回答欄</p> <p>課外活動のガイドラインを制定し、活動条件や大会参加等の指針を示した。</p>	<p>根拠資料・データ（提出は任意）</p> <p>C-4-01 「10月4日からの課外活動について」</p>
<p>感染予防対策チェックリストを作成し、活動場所の換気や練習前後の手指の消毒等の実施状況を、指導教員と学生間で確認する機会を設けた。</p>	<p>C-4-02 「チェックリスト（部活動用・同好会用）」</p>
<p>同好会を含む全ての課外活動に対して、管理職(学生主事・学生課長)がそれぞれの活動場所に赴き、感染予防対策の実施状況を確認した。</p>	<p>C-4-03 「課外活動再開について」</p>
<p>同好会を含む全ての課外活動に対して、部室等消毒のための消毒セット一式を配布し、各自定期的に消毒するよう注意喚起した。</p>	
<p>体育館等の換気用として、大型の送風機を導入した。</p>	<p>C-4-04 「換気用送風機の使用説明について」</p>
<p>5. 新型コロナウイルス感染症への対応として、遠隔授業に関するFDの実施により、教育の質の向上や授業の改善に結び付いている事実があるか確認したい。</p>	
<p>回答欄</p>	<p>根拠資料・データ（事実がある場合は提出してください）</p>
<p>遠隔授業の実施にあたっては、MicrosoftTeamsを活用することを基本とし、令和2年4月22日にその使用方法に関するFD研修会を実施し、教職員59名が参加した。事後のアンケートでは「満足度86%」、「テーマ設定の適切度98%」との回答があり、遠隔授業の実施に向けて有益であったことが伺える。</p>	<p>(再掲)C-1-05 「遠隔授業に関するFD研修」 C-5-01 「R2年度FD・SD実施状況」</p>